



こくぶ かつひこ
國部 克彦氏

神戸大学大学院
経営学研究科 教授

地域社会から信頼されるために

広島ガスは「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念の下で、積極的にCSR活動を展開されています。

今年度のトピックスは、「マテリアリティ（重要課題）」を特定されたことです。CSR活動は、多岐にわたるため、それぞれの会社にとっての重要課題をマテリアリティとして特定することが、国際的な標準実務として奨励されており、広島ガスが今回マテリアリティを特定されたことは大いに意義があります。ただし、マテリアリティの中身は、やや一般的で網羅的なもので、もう少し地域課題に特化してもよかったように感じます。今後検討していただければと思います。

また、広島ガスは「2050年カーボンニュートラルへの取り組み」を策定し、カーボンニュートラルへ向けてさまざまな活動を展開しています。この点について、私は、「地域社会から信頼される会社をめざす」という観点からは、地域社会の創エネが重要であると思います。現在も、再生可能エネルギー電源の導入拡大に努めておられますが、このような活動が地域社会の活性化へつながるように、さまざまなステークホルダーを巻き込んで、大きく発展させていっていただきたいです。

このように広島ガスは、地域社会のために多くの重要な活動をされており、まさに経営理念を体現されています。今後は、このような活動に参加されている地域の方の声をもっと取り入れられると、報告書自体も活性化していくと感じます。今後の発展を期待しています。



たなべ まさひこ
田邊 昌彦氏

公益財団法人
ひろしま産業振興機構
代表理事・副理事長

サステナブルな社会への挑戦企業として

広島県の企業数は89千社、事業所数145千所、いずれも全国11位の規模です。（公財）ひろしま産業振興機構は、企業、事業者の皆さまの経営課題、技術課題の解決支援やIT・DXの推進支援、海外マーケティングの展開支援などに取り組んでいます。

こうした課題の解決支援には、幅広い分野の専門家や大学、産業支援機関の力が不可欠で、「ひろしま産振構」のネットワークを使って、各企業と専門家・機関との協働や事業者とのマッチングも積極的に進めています。

現在、企業の皆さまが直面する、技術開発、人材不足、デジタル化などの課題の中で、将来を見据えた最大かつ共通の課題は、持続可能な地球環境の実現に向けた脱炭素化への対応です。

広島ガスグループのCSR活動、とりわけ、カーボンニュートラルへの幅広い取り組みは県内の企業、事業者の先駆例となるものです。独自の定量的な目標を掲げ、天然ガスへの燃料転換を推進しつつ、太陽光、小水力、バイオマス発電など再生可能エネルギーの普及拡大、事業所・製造所のエコオフィス活動、省エネ活動、森林保全活動の推進などにグループを挙げて取り組んでおられ、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、これからも地域のリーディング・カンパニーとしての取り組みを期待しておりますし、私ども「ひろしま産振構」も県内企業の皆さまの脱炭素化への対応を支援してまいります。



たなか たかひろ
田中 貴宏氏

広島大学大学院
先進理工系科学研究科 教授
（「広島都心会議」アドバイザー
ボードメンバー）

広島ガスへの期待 ～「広島都心会議」の視点から～

広島都心部のまちづくりに関わるさまざまな関係者が一体となり、2021年に設立された「広島都心会議」。設立当初より、その中心的役割の一端を担ってきた広島ガスの皆さんに、まず敬意を表したいと思います。全国的なまちづくりの潮流として「公から民へ」という流れがある中で「広島都心会議」の設立は、まさに時宜を得たものであり、全国的にも注目を集めています。この「広島都心会議」では、設立時より多様なプロジェクトが構想されてきましたが、2023年、それらを取りまとめる形で「環瀬戸内の文化経済首都『広島』宣言ー広島都心会議ミライビジョン2030ー」が策定され、15のプロジェクトが示されました。

特に15のプロジェクトの中の「環境・防災の観点で踏まえたスマートコミュニティの実現」や「都市OS・デジタルインフラの構築」は、広島ガスの経験や資産の活用可能性が大きい分野と考えられます。例えば、気候変動の影響が年々大きくなる中、緩和（CO₂排出削減）と適応（豪雨災害時の防災対策、暑熱対策）に向けた取り組みは喫緊の課題と言えますが、分散型エネルギーシステムの導入やエネルギー需給最適化はその柱となる取り組みです。また、まちづくりに資する都市OS・デジタルインフラの構築に向けても、広島ガスが有する都市インフラデータは、その基盤となり得るものと考えられます。これらの取り組みの中心的役割を担い、広島都心部のスマートシティ化に大きく貢献いただくことを期待しています。

広島ガスの概要

1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業者としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初
のガス事業者となりました。以来、110年以上にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。

現在では、広島市を中心に県内7市とその周辺地域の417千戸のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスを主な原料と
した都市ガスをお届けしています。

本社所在地 / 広島市南区皆実町2丁目7-1

TEL 0570-002-888

創 立 / 1909年10月

資 本 金 / 52億68百万円

従 業 員 数 / 686名

事 業 内 容 / ① ガス事業
② ガス器具の販売
③ 液化天然ガスの販売

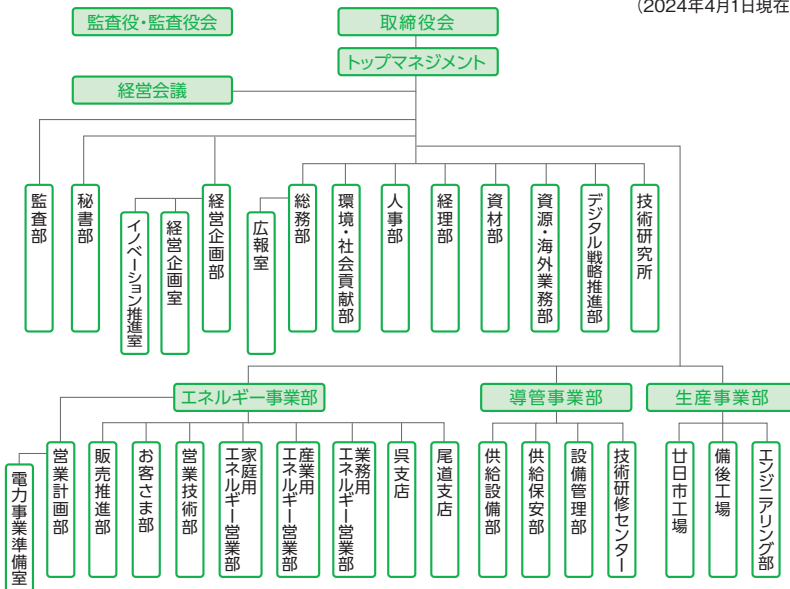
(2024年3月31日現在)



広島ガス本社地区

組織図

(2024年4月1日現在)



◎地域のサービス窓口

ガスライフ

(営業時間) 9:00 ~ 17:30 (月~土)

1 ガスライフ広島	広島市中区南竹屋町1-30	5 ガスライフ呉	呉市中央1丁目6-16
2 ガスライフ安芸	広島市安芸区船越南3丁目1-14	6 ガスライフ尾道	尾道市天満町3-2
3 ガスライフ五日市	広島市佐伯区海老園2丁目7-43	7 ガスライフ可部	広島市安佐北区龜山9丁目13-7
4 ガスライフ祇園	広島市安佐南区西原5丁目13-1	8 ガスライフ西条	東広島市西条御条町4-38

ガスライフ
全店舗共通



0570-550-720

※ナビダイヤルをご利用にならない場合(一部のIP電話・海外からのご利用)などは、
082-240-8891へおかけください。

【受付時間】 月~土曜日(祝日のぞく) 9:00~19:00 【定休日】 日曜日・祝日・年末年始(12/31~1/4)

ショールーム

最新ガス機器を体感いただき、
温かなガスのある暮らしへ

体感・展示設備(一例)

- 家庭用燃料電池(エネファーム)
- 床暖房・浴室暖房体感ルーム
- ためして! キッチン(厨房比較)



● ガストピアセンター



広島市中区南竹屋町1-30
TEL.082-240-8888

● ガストピア安芸



広島市安芸区船越南3丁目1-14
TEL.082-821-1130

● ガストピア五日市



広島市佐伯区海老園2丁目7-43
TEL.082-923-5678

● ガストピア呉



呉市中央1丁目6-16
TEL.0823-22-1262

● ガストピア祇園



広島市安佐南区西原5丁目13-1
TEL.082-850-3506

● ガストピアおのみち



尾道市天満町3-2
TEL.0848-22-2161

広島ガスグループの概要

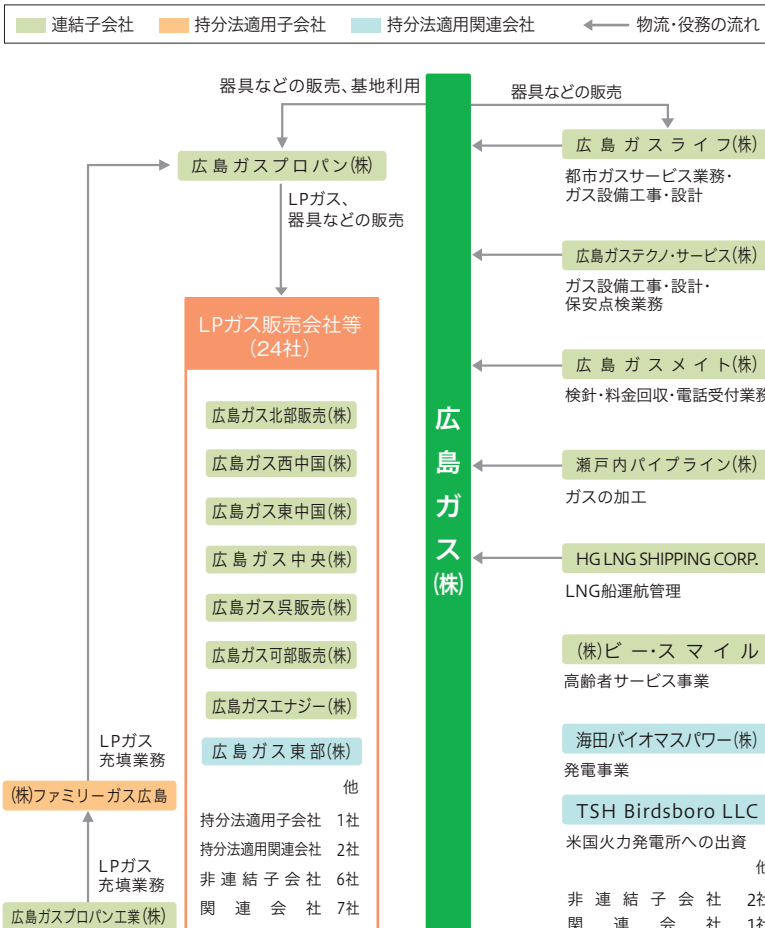
広島ガスグループ(広島ガス、子会社25社および関連会社13社により構成)においては、ガス事業、LPG事業を主として行っています。



事業系統図

(2024年3月31日現在)

広島ガス(株)を中心に子会社・関連会社を含めて39社で構成されています。



主な子会社の概要

(2024年3月31日現在)

広島ガスプロパン株式会社

資本金／3億円 設立／1969年3月
売上高／13,114百万円 従業員数／106名

広島ガステクノ・サービス株式会社

資本金／8千万円 設立／1998年6月
売上高／9,232百万円 従業員数／208名

広島ガスメイト株式会社

資本金／2千万円 設立／1975年4月
売上高／932百万円 従業員数／156名

広島ガスライフ株式会社

資本金／1.5千万円 設立／2018年6月
売上高／3,801百万円 従業員数／170名

株式会社ビー・スマイル

資本金／7.5千万円 設立／2001年6月
売上高／209百万円 従業員数／27名

瀬戸内パイプライン株式会社

資本金／1億5千万円 設立／2003年5月
売上高／1,169百万円 従業員数／11名

HG LNG SHIPPING CORPORATION

資本金／1百万円 設立／2005年2月
売上高／2,164百万円